



2022年6月30日

各位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード8739 東証プライム市場)

「未来創生 3 号ファンド」

自己抗体研究に革新的なアプローチを提供するプロテオブリッジ株式会社への投資実行

—少量の採血による自己抗体検査で全身の状態を把握し、健康な社会づくりに貢献—

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2021年10月に設立した「未来創生 3 号ファンド」が、非乾燥のタンパク質アレイによる 1.4 万種類の自己抗体解析を通じて、社会課題の解決を進めるプロテオブリッジ株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役 熊谷亮。）に対する投資（1.8 億円）を実行しましたので、お知らせいたします。同社は今回の調達資金を活用し、研究検査「A-Cube™」の対象疾患拡大と、人間ドック向けオプション検査「抗体ドック」の開発を加速させます。

■投資先企業の概要

プロテオブリッジ社は、「健康な明日へ、プロテオミクスの橋を架ける」を企業理念とする、産総研技術移転ベンチャーです。産総研の独占ライセンスによる HuPEX®タンパク質アレイは、1.4 万種類のヒトタンパク質を非乾燥に搭載し、アレイ基板上に生体内の抗原抗体反応を再現させることが可能です。本技術は少量の採血で、従来法では困難であった高精度かつ網羅的な自己抗体測定を実現することができます。同社は 2021 年 12 月より、研究検査「A-Cube™」を難病関連自己抗体検査（強皮症・筋炎）としてローンチし、43 種類の自己抗体（65 種類の抗原）を同時に測定することを可能にしました。また医療系研究機関、製薬企業との共同研究においては、本技術を活用し複数のバイオマーカーを発見しています。今後は、検査対象疾患の拡充と処理能力の向上、そして拡張型自己抗体データベースの構築を通じ、健康な社会づくりに貢献して参ります。

■「未来創生（1号）ファンド」、「未来創生 2 号ファンド」および「未来創生 3 号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技术を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半年期には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドの運用を開始しました。そして、2021 年 10 月から未来創生 2 号ファンドの 5 分野に加えて、「カーボンニュートラル」を投資対象とし、スパークスの子会社であるスパークス・アセット・マネジメント株式会社をファンド運営者とした未来創生 3 号ファンドの運用を開始しました。2022 年 5 月末時点の運用資産残高は、1 号、2 号および 3 号をあわせて、1,501 億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>



- 本件に関するお問い合わせ先
スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com